

3 業種別の状況【平成30年度届出排出量上位3業種】

(1) 輸送用機械器具製造業（排出量第1位）

ア 排出量別事業所数

平成30年度の報告事業所は48事業所であり、排出量別の事業所数は図3-1のとおりでした。排出量上位3事業所で、当該業種の排出量全体の56.7%を占めていました。

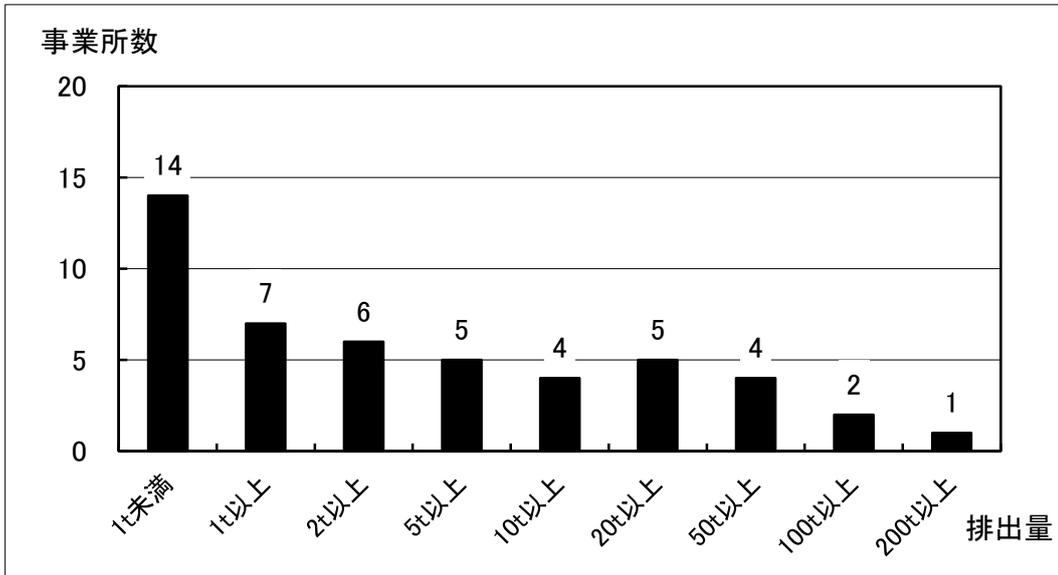


図3-1 排出量別事業所数

イ 当該業種が占める割合

輸送用機械器具製造業は、図3-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の45.7%を占めていました。

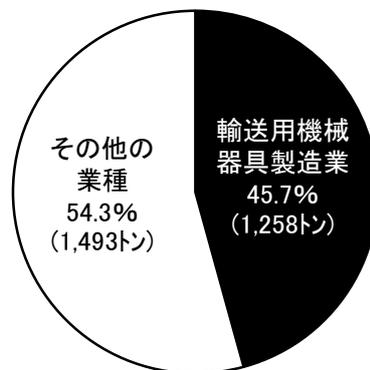


図3-2 排出量（平成29年度）

ウ 物質別排出量の状況

平成30年度に報告のあった物質数は33物質で、物質別の排出量は図3-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の93.8%を占めていました。

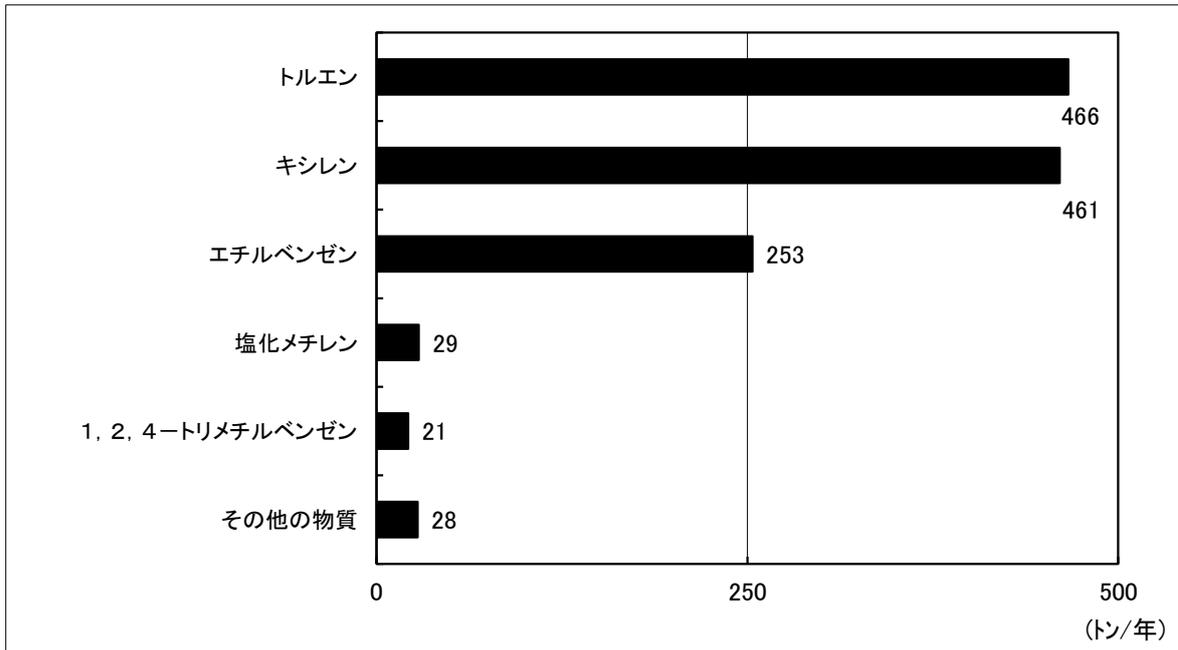


図3-3 物質別排出量

エ 用途別排出量の状況

平成30年度に報告のあった用途別の排出量は、図3-4のとおりでした。「溶剤・塗料など」が、当該業種の排出量全体の91.9%を占めていました。

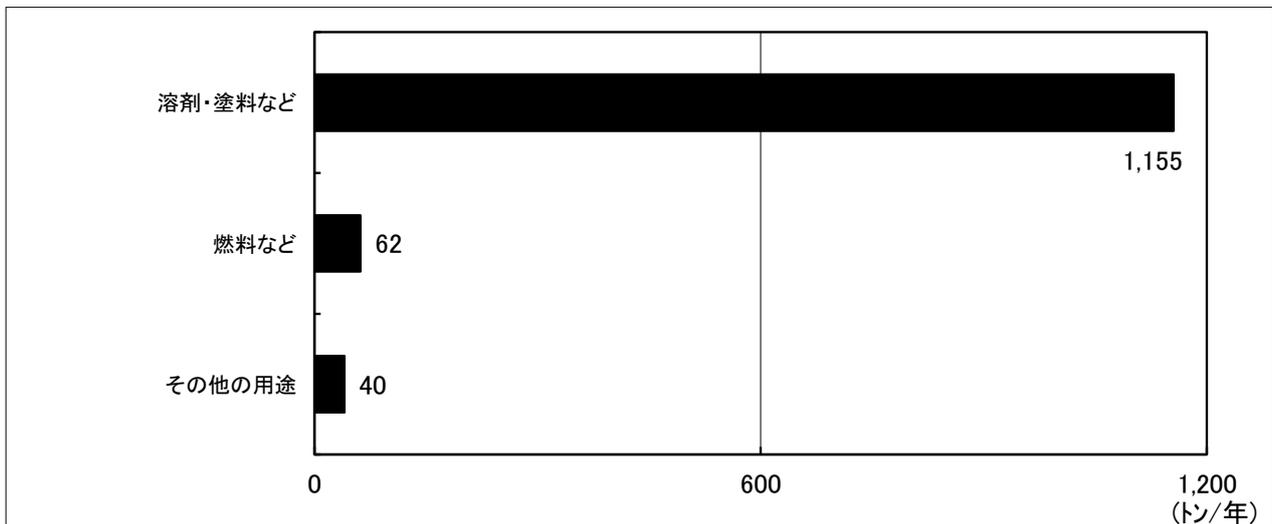


図3-4 用途別排出量

(2) ゴム製品製造業（排出量第2位）

ア 排出量別事業所数

平成30年度の報告事業所は7事業所で、排出量別の事業所数は図4-1のとおりでした。排出量上位1事業所で、当該業種の排出量全体の92.4%を占めていました。

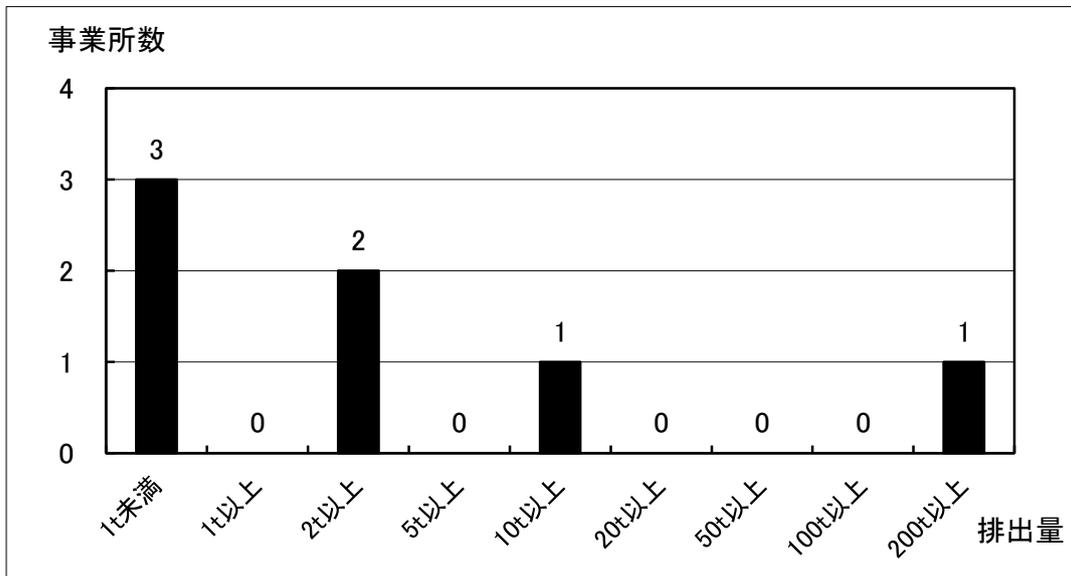


図4-1 排出量別事業所数

イ 当該業種が占める割合

ゴム製品製造業は、図4-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の10.9%を占めていました。

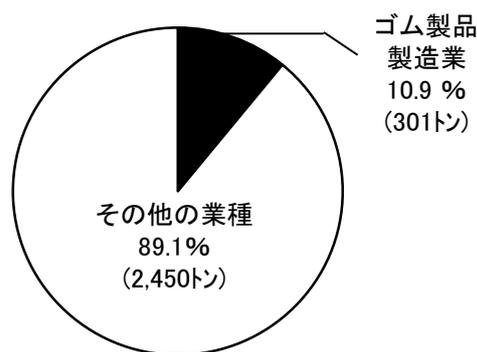


図4-2 排出量（平成29年度）

ウ 物質別排出量の状況

平成30年度に報告のあった物質数は37物質で、物質別の排出量は図4-3のとおりでした。排出量の最も多いトルエンが、当該業種の排出量全体の93.5%を占めていました。

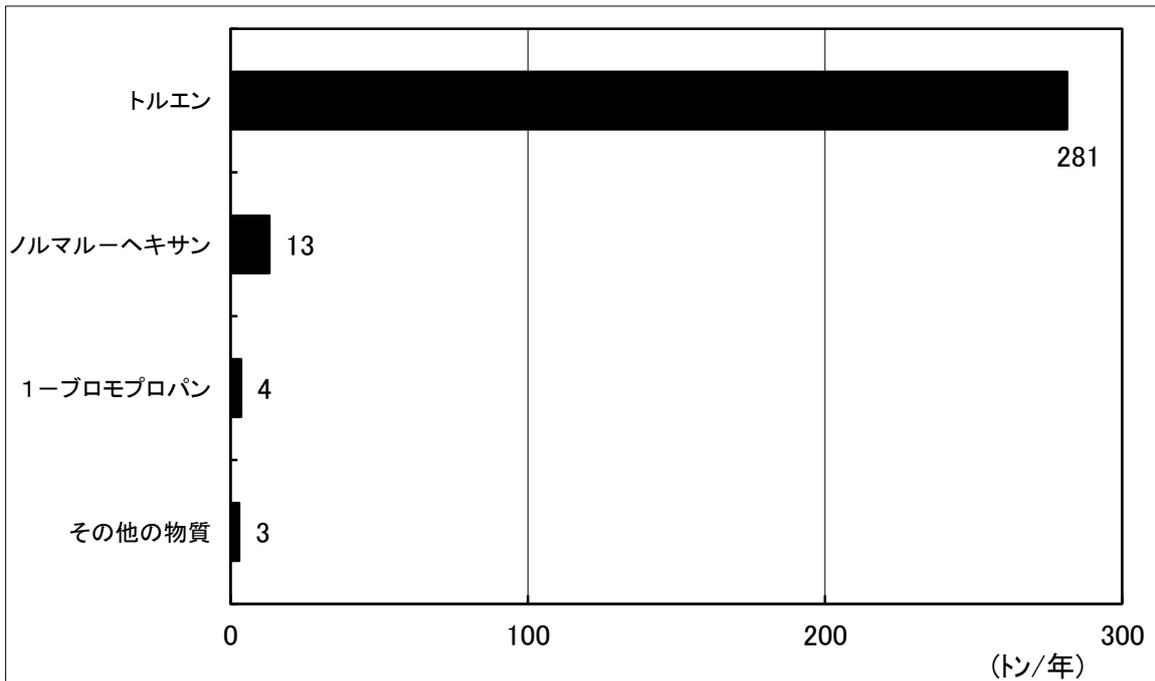


図4-3 物質別排出量

エ 用途別排出量の状況

平成30年度に報告のあった用途別の排出量は、図4-4のとおりでした。「溶剤・塗料など」が、当該業種の排出量全体の98.8%を占めていました。

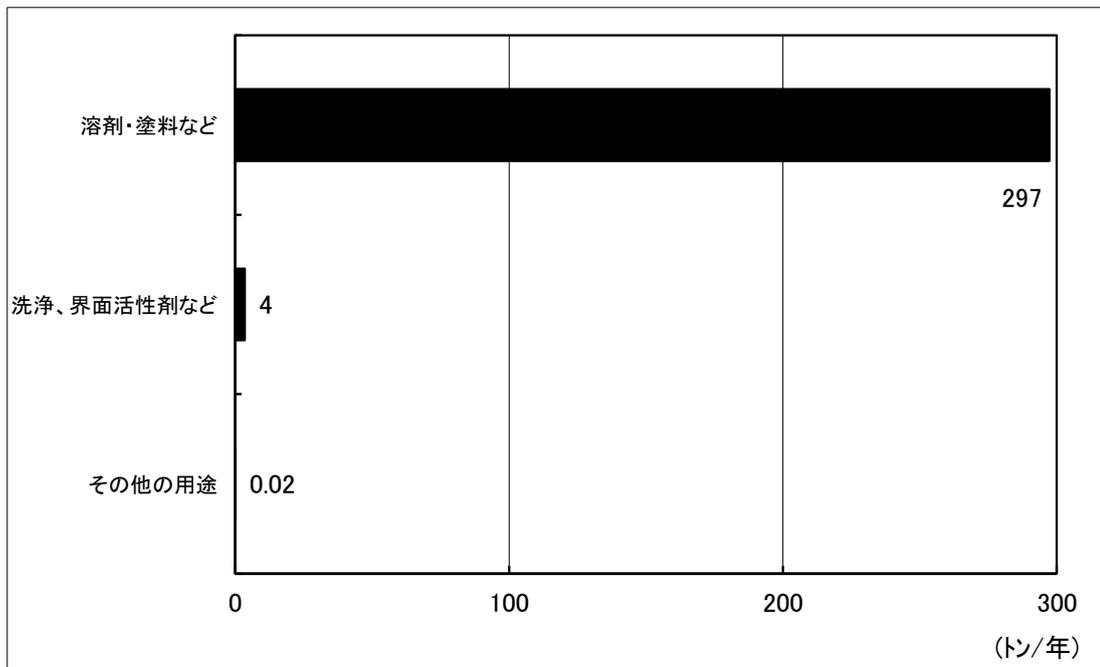


図4-4 用途別排出量

(3) 船舶製造・修理業、船用機関製造業（排出量第3位）

ア 排出量別事業所数

平成30年度の報告事業所は4事業所で、排出量別の事業所数は図5-1のとおりでした。排出量上位1事業所で、当該業種の排出量全体の91.5%を占めていました。

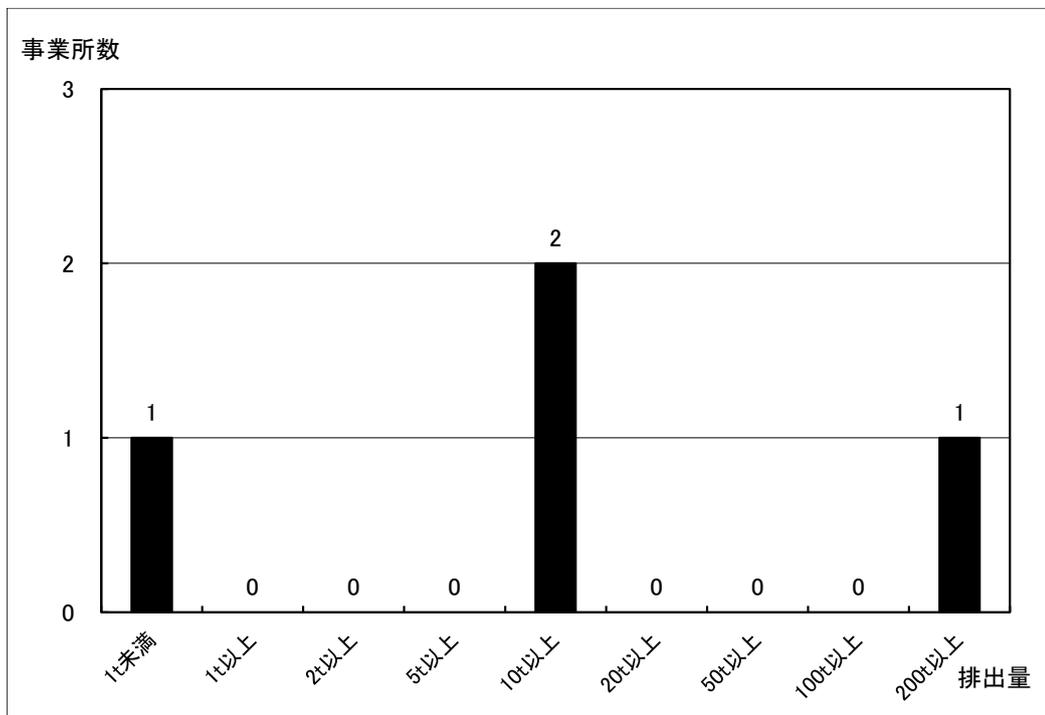


図5-1 排出量別事業所数

イ 当該業種が占める割合

船舶製造・修理業、船用機関製造業は、図5-2のとおり、報告を行った全事業所の排出量の9.4%を占めていました。

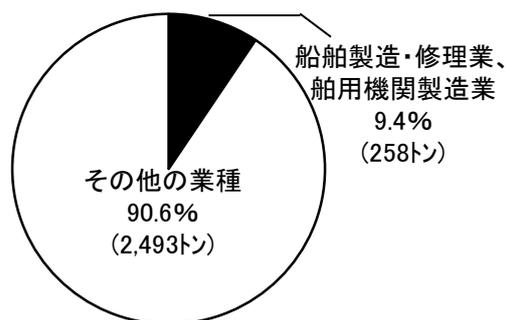


図5-2 排出量（平成29年度）

ウ 物質別排出量の状況

平成30年度に報告のあった物質数は10物質で、物質別の排出量は図5-3のとおりでした。排出量上位3物質で、当該業種の排出量全体の97.2%を占めていました。

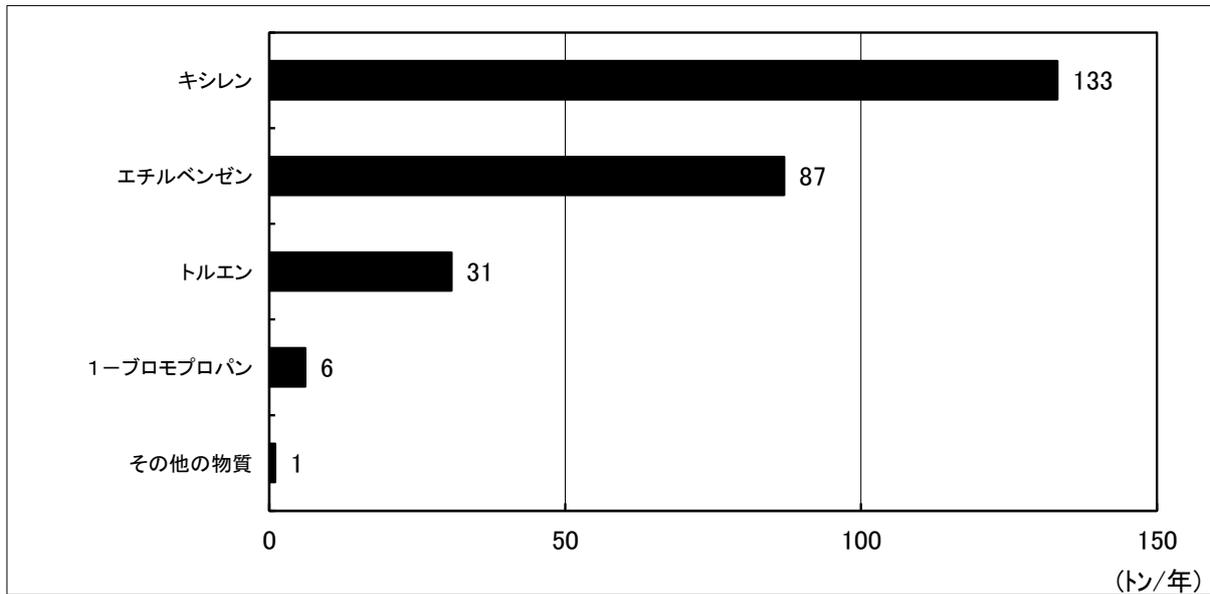


図5-3 物質別排出量

エ 用途別排出量の状況

平成30年度に報告のあった用途別の排出量は、図5-4のとおりでした。「溶剤・塗料など」が、当該業種の排出量全体の97.2%を占めていました。

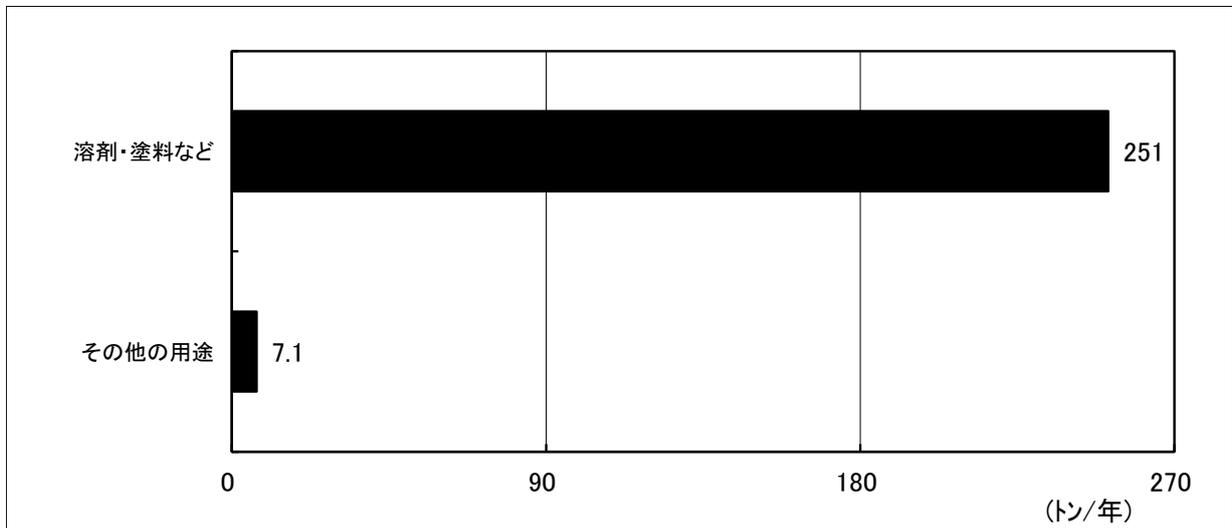


図5-4 用途別排出量